

子育て

高 勝義

昨年結婚した長女が無事男子を出産し、家に戻ってきた。我が家にとっては初孫であり、当然私にとっても初孫である。いつもそうであるが、新生児を見たときに、多くの人は美男美女とか、母親に似ているとか、父親に似ているとか言うのだが、私にはどんな新生児も同じ様な顔をしているように見えるのである。

今回初孫の顔を見た時も、自分の四人の子供を見た時と同じように、父親にも母親にも似ているようにも、相変わらず新生児の顔のようにも思えたのである。

以前自分が若かった時には、仕事の忙しさに追われ、子供の世話は全て妻に任せ、まじまじと子供の顔を見たような記憶はない。恥ずかしいことではあるが、真に冷たい父親であり、夫であったようである。そのようにして育った自分の子供が結婚して孫を生んだ時、孫に対する今の自分の思いは又違っている。こんなに弱々しく、繊細な子供が、一体どの様にして大きく育っていくのだろうか。大きな声で鳴き声を上げていると、どうしたのだろうか、ついつい気になり、孫の寝ているベットをのぞき込んでしまうのである。母親である我が娘も、子供が大声を上げていつまでも泣いていると、一体どうしていいのか困り果て、四人の子供を育てた妻にしばしば相談をしている。

娘はたくさんの新生児を病院で治療してきた小児科医である。その娘でさえ、子供が泣いたりぐずったりすると、困ったような顔をするのを時々垣間見るのである。子育てベテランの妻と一緒に家に居ながら、小児科医が困っているのである。子供に関してあまり知識のない一般の女性が出産し、自分の家族も居ない所で、小さな子供を育てることは如何に不安なことだろうか、今の娘を見ていると思ってしまうのである。

最近では出産後、その夫も出産休暇が取れるようになったと聞く。今までは、男が何も仕事を休まなくても、女手で子供くらいは育てることが出来るのだろうと思っていたのだが、今回の経験で、夫も仕事を休み、妻と一緒に小さな子供を育てる必要性をつくづく感じるのである。

最近、とある医師の奥さんが子育てに悩み、小さな三人の子供を殺して、自分も自殺してしまったという報道を聞く。もし、身近にお爺さん、お婆さんが居て、色々相談する事ができていたなら、こんな事は起こらなかったかもしれないと思うのである。

昔のように大家族の中で、豊かな経験のある老人に相談しながら子育てをした時代とは異なり、核家族化した現代では、相談する相手もなく、出産後間もない母親は、さぞ不安なことであろう。出産率の低下する現在、子育てのための相談役と共に、夫も妻と一緒に子育てをしなくてはならない時代となったように思うのである。  
(山下病院 院長)

8月の定例会

場所「まごころふれあい広場」9:30~12:30  
定例会：8月1日(日)  
勉強会：「排泄について」講師：山口陽子さん

当会主催・映画会の案内  
家族の自立と介護を考える

映画「母のいる場所」開催します  
平成十六年九月十一日(土)午後一時

アイプラザ一宮(愛知県一宮労働福祉会館)

4月会員登録

協力会員	45人
利用会員	60人
賛助会員	126人
合計	231人

4月有償活動

在宅活動件数	17件
在宅活動人数	31人
ミニデイサービス利用者	63人
移送サービス利用件数	232時間
ふれあい広場利用回数	14回
助け合い活動時間	412.5時間

4月支援費活動

訪問件数	29件
身体介護	187.0時間
家事援助	73.5時間
移動介護	60時間
日常生活支援	7.5時間
合計	328時間

4月介護保険活動

利用件数	51件
生活支援	605.5時間
身体介護	673.0時間
合計	1278.5時間

児童デイサービス参加の子供たちと  
助け合い活動による遠足

名古屋港水族館に行きます。7月28日(水)  
支援費による児童デイ参加の子供たちやお友達、お母さんたちと、まごころ助け合い活動の一環として、一宮市の福祉バスをお借りして、名古屋港水族館へ出掛けます。多数ご参加ください。

開講します  
精神保健ホームヘルパー  
養成特別研修講座開催

講義：平成16年7月10日/11日/18日  
実習：7月20日~29日の間に半日  
会場：一宮スポーツ文化センター

7月の予定

- 1日(木) 会報「まごころ」発行サービス提供責任者会議 (真清田社内開講)
- 2日(金) 児童デイ (真清田社内開講)
- 3日(土) 児童デイ (真清田社内開講)
- 4日(日) 数県自衛隊連絡支援センター基礎研修会
- 5日(月) 定例会・勉強会(家事援助について)
- 6日(火) 児童デイ (真清田社内開講)
- 7日(水) 児童デイ (真清田社内開講)
- 8日(木) 訪問介護適正実施 研修 (名古屋)
- 9日(金) サービス提供責任者会議
- 10日(土) 児童デイ (真清田社内開講)
- 11日(日) 児童デイ (事務所)
- 12日(月) 精神障害者ヘルパー養成講座開講(スボ文)
- 13日(火) 精神障害者ヘルパー養成講座 (スボ文)
- 14日(水) 児童デイ (事務所)
- 15日(木) 「市民協愛知」代表幹事会 (春日井市)
- 16日(金) 児童デイ (事務所)
- 17日(土) ミニデイサービス (保育園)
- 18日(日) サービス提供責任者会議 (春日井市)
- 19日(月) 児童デイ (事務所)
- 20日(火) 精神障害者ヘルパー養成講座 (スボ文)
- 21日(水) 児童デイ (事務所)
- 22日(木) ミニデイサービス (事務所)
- 20日~29日 精神障害者ヘルパー養成施設研修 (事務所)
- 23日(金) 児童デイ (事務所)
- 24日(土) ミニデイサービス・定例会 (事務所)
- 25日(日) サービス提供責任者会議 (真清田社内開講)
- 26日(月) 一宮市介護サービス事業者連絡会 (事務所)
- 27日(火) 児童デイ (真清田社内開講)
- 28日(水) 児童デイ (真清田社内開講)
- 29日(木) ミニデイサービス (事務所)
- 30日(金) 児童デイ・遠足 (利用者と家族 名古屋港水族館へ)
- 31日(土) 精神障害者ヘルパー養成講座修了式(事務所)
- 32日(日) ミニデイサービス (保育園)
- 33日(月) サービス提供責任者会議 (事務所)
- 34日(火) 児童デイ (事務所)
- 35日(水) 児童デイ (事務所)

ミニデイサービス発表会

素晴らしい力の発見

まごころ総会後に行われたミニデイサービス発表会。この日に向けて練習を重ねてきました。どの方も、どの方も真剣で顔が輝いて光っていました。それぞれ心身に病気があり、お体の状態は決してお元気ではない。どこに、そんな力があるのかと思われ程の迫力でした。

白波五人男の名セリフを堂々と口上の5人衆。加えて三人吉三と与三郎。どの方も、着物姿でタンカをきる見事な演技。「こいつあー春から縁起がいいわいねえー」と渋い93歳のMさん。言葉に脳梗塞の後遺症がまだ少しおありになるSさんは、見事に日本駄右衛門になりきられた。

出し物については、個人が自分の意志で決められた。島崎藤村の「初恋」を朗読されたKさん、とても奇麗でした。



84歳のNさんが弾かれるピアノに合わせて「ふるさと」を唄われたKさん、さらに、それに合わせて男性スタッフとペアでワルツのステップを踏まれた89歳のNさん。ピアノ演奏はNさんとOさん。「知床旅情／おぼろ月夜」「聖者の行進／さくら」。ハーモニカの演奏は照れ屋のTさん「みかんの花咲く丘／お富さん」を披露。新派の役者顔負けの「お吉物語」の歌とせりふはKさん。出身地の民謡と太鼓を披露されたのはTさん。それぞれ個性豊かな出し物でした。最後に、全員で、気持ちをあわせ、木曾節の楽器演奏と今年のまごころミニデイの課題曲「旅愁／知床旅情／森へ行きましょう」が披露されました。アンコールの声がかかるほど感動のステージでした。みている者に元気をいただいた。

皆さん「お見事！」

この日のために、力を貸して下さいました多くのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。